



鹿骨中だより

江戸川区立鹿骨中学校

<http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibone-j/>

教育目標

- ・みずから学び、考えて行動する生徒
- ・思いやりのある豊かな心をもった生徒
- ・健康で明るく、勤労と責任を重んじる生徒

共磨き（ともみがき）対話と体験 ～一人一人の成長を願って～

校長 大谷 雅也

新入生126名を迎え、全校生徒369名、11学級（1年4学級、2年3学級、3年4学級）で令和5年度をスタートしました。今年度の指導指針は、「共磨き 対話と体験 ～一人一人の成長を願って～」です。

指導指針に「一人一人」という言葉を入れました。これは、一人一人の成長の課題もそのスピードも異なることを大切にして指導していきたいとの思いを込めました。生徒の成長を中心にみんなが幸せになれる学校をめざします。生徒の成長を全力で支えてまいります。ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

「新入生 誓いの言葉」

新入生代表

春の暖かな気候に恵まれ、今日というよき日に、多くの方々に見守られながら、私たち126名は、鹿骨中学校の入学式を迎えることができました。

真新しい標準服に身を包み、初めての教科や初めての部活動、初めてのことが中学校にはたくさんあります。不安もありますが、楽しみにしていることもたくさんあります。

1つ目は勉強です。算数から数学、図工から美術、そして小学校にはなかった技術を学ぶことができます。私は算数が少し苦手なので、数学を頑張りたいと思います。部活動も始まり、勉強との両立は大変ですが、小学校で学んだことを活かし頑張っていきます。

2つ目は学校行事です。クラスや学年で力を合わせる運動会や合唱祭。2年生ではチャレンジ・ザ・ドリームと言われる職場体験や林間学校、3年生では修学旅行があります。これらの行事を通して、たくさんの思い出をつくと共に、仲間との絆を深め、人として成長していきたいと思います。

そのような中で、時には悩み、失敗することもあるかと思っています。そのときは先生方や先輩方、地域の方々にご指導いただき、ぼくたちみんなで前を向き頑張っていきます。

「在校生 歓迎の言葉」

生徒代表 3年

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心より歓迎いたします。私たちは、皆さんに会えることをとても楽しみにしていました。皆さんは今どんな気持ちを抱いているのでしょうか。新しい標準服に身を包み、新生活への期待で胸がいっぱいではないのでしょうか。同時に、環境の変化に不安を感じている人もいるかもしれません。しかし、鹿骨中学校は、とても楽しく自らが大きく成長できる場です。これから鹿骨中学校の魅力を皆さんに3つお伝えします。

1つ目は行事です。私が1番印象に残っている行事は運動会です。体育の授業や学年練習のときから一生懸命練習し、実行委員中心に準備を進め、本番に臨みました。本番では生徒全員で優勝を目指し、今まで以上の力を発揮することができました。競技はもちろん、応援団の応援なども、全力で行うことができ、学年、学校全体の団結力が強まりました。また、学年で取り組む行事もあります。校外学習や林間学校では、自分たちで行うものが増え、自分たちで考え、行動することが多くなります。中学校の行事は、自分たちで考え、創りあげることで、成功したときに達成感を味わい、仲間との絆を深めることができます。楽しみにしてください。

2つ目は、部活動です。鹿骨中学校には、7つの運動部と、6つの文化部があります。他学年との絆を深め、自分の取り組みたいことを伸ばせる大切な活動です。どの部活動も、先輩が優しく様々なことを教えてくれるので、学年を越えた仲間ができます。部活動での経験は、高校や将来にもつながり、一生の思い出を得られるはずです。仮入部を通して自分に合った、3年間続けたいと思える部活動を見つけてみてください。

3つ目は学習です。皆さんの中には、学習内容が小学校と違って難しいのか、授業についていけないなどと不安に感じている人もいるかもしれません。しかし、先生方は優しく丁寧に楽しく基礎基本から教えてくださいます。授業では、仲間と意見を出し合ったり、先生に教わったりする中で、新たな知識を得ることができます。また、小学校と異なり、中学校には、これまでの学習の成果を振り返るために定期考査があります。このテストに向けて、毎日少しずつでも勉強時間をとれるような学習計画を心がけてみてください。

このように、鹿骨中学校には、自分が成長できる場や機会がたくさんあります。その一つひとつは自分から進んで取り組むことで、より充実したものになります。一生懸命物事に取り組めば、必ず誰かがそれを見ていて、支え、応援してもらえます。中学生としての誇りと自覚を持ち、鹿骨中学校の仲間として、お互いを尊重し、一緒に様々なことに挑戦していきましょう。